



平成27年8月6日

各 位

上場会社名 日本海洋掘削株式会社
 代表者 代表取締役社長 市川 祐一郎
 (コード番号 1606)
 問合せ先責任者 広報・IR室長 谷内 正彦
 (TEL 03-5847-5862)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,630	2,639	2,396	1,586	88.17
今回修正予想(B)	28,042	3,838	3,932	2,589	143.87
増減額(B-A)	2,412	1,199	1,536	1,002	
増減率(%)	9.4	45.5	64.1	63.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	13,861	934	2,755	2,136	118.69

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,507	899	436	169	9.42
今回修正予想(B)	40,322	51	△91	△355	△19.74
増減額(B-A)	△185	△848	△527	△524	
増減率(%)	△0.5	△94.3	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	32,584	842	3,260	1,892	105.15

修正の理由

平成28年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも前回発表予想(平成27年5月11日)を上回る見通しとなりました。

第2四半期連結累計期間の売上高は、各リグとも概ね前回発表予想通りの操業日数が見込まれていること、想定為替レートを現状の為替水準に合わせたこと、前回発表予想では第3四半期以降に計上することを見込んでいた「ちきゅう」科学掘削の一部が第2四半期連結累計期間に計上出来る見通しとなったことなどから売上高は前回発表予想比9.4%の増加となる見込みです。

一方、売上原価は売上高同様、第3四半期以降に計上を見込んでいた「ちきゅう」科学掘削の一部を第2四半期連結累計期間に計上することによる増加要因はあるものの、想定為替レート変更の影響は売上高に比べて少ないこと、一部のリグでは操業関連費用の節減を予定することなどから、売上高ほどの増加は見込まれず、その結果、営業利益は前回発表予想比45.5%の増加となる見込みです。経常利益につきましては、営業外収益において為替差益を見込みましたことから前回発表予想比64.1%の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては前回発表予想比63.2%の増加となる見込みです。

平成28年3月期の通期連結業績予想につきましては、売上高は、想定為替レートを現状の為替水準に合わせたことによる増加要因があるものの、受注活動中のリグについて掘削作業日数を保守的に見直したことなどから前回発表予想比0.5%減少する見込みです。

一方、売上原価は一部のリグで操業関連費用の節減を予定するものの、それを上回る想定為替レート変更による増加が見込まれることなどから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前回発表予想を下回る見込みとなりました。

(注)上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上